

事業計画書

令和2年度版



～令和2年度の主な事業計画～

社会福祉法人 未来こどもランド

社会福祉事業

第二種社会福祉事業

保育所 練馬区立石神井町つつじ保育園

保育所 練馬区立光が丘第十保育園

小規模保育事業 すまいるベリー保育園

放課後児童健全育成事業 未来こどもランド学童保育

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる石神井

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる高野台

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ステップ

障害児通所支援事業 児童発達支援 すまいる・キッズ

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ツリー

障害児相談支援・特定相談支援事業 未来こどもランド すまいる相談支援室

障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト

公益事業

地域交流拠点事業 「みんなのカフェ」 すまいる・ヴィヴィファイ

◆法人◆

1) 概略

○法人名 社会福祉法人未来こどもランド

○所在地 東京都練馬区谷原5-22-2 MKLビル

○代表理事 栗原三津子

○設立認可年月日 平成26年4月8日

○法人登記年月日 平成26年4月8日

2) 理事、監事、評議員

今年度の理事（6名）、評議員（7名）、監事（2名）は次の通り

理事長 栗原三津子

理事 岩瀬秀明 平山晴一 鈴木真 東江福江 石川美穂

評議員 平田美穂 村上環 遠藤由美子 長島庫子 石井孝弘 田中哲子 上田ゆき子

監事 田淵順三 船越敏万

3) 理事会の開催予定～4か月を超える間隔で年に二回以上

第二種社会福祉事業

練馬区公立園受託事業

令和2年度 石神井町つつじ保育園 事業計画

～事業方針について～

- ・ 法人の理念さらに保育理念の実現に向けて全職員で取り組む。
「子どもや保護者の心に寄り添い、人との関わりの中で生きる力を育む」

園の基本方針

- 1、生きる力の基礎を培い、豊かな人間性を持った子どもを育てる
- 2、人間の土台を形成する、乳幼児期に豊かな実体験を重ねる。
- 3、どの子もかけがえのない子ども時代を過ごせるように自発的、意欲的に関われる環境を構成していく。
- 4、保護者に信頼され、安心して子どもを託すことができる保育園にしていく。
- 5、家庭と保育園と地域が連携しながら子育てをしていく。

以上のつつじの保育目標をどのようにして、目指していくのか

そのために次のことをやっていきましょう！

- 前例踏襲をやめよう。(計画表の年度を変えるだけでなく各部署の中で考えて作ろう)
子どもの発達を押しえながら、自分たちのやりたい仕事の実現を図る。
キーワード：知恵・創造・効率
- 考え実践したことの交流⇒全体会議(受け身ではなく、発言できる工夫)
- 誰かがやるだろう、私は関係ない・・・そこを乗り越えた時、クラス・つつじ保育園は変わる。仕事
が楽しくなるよう人事考課制度で自分の目指したいことを再発見しよう。
- 困難さはどこに出現するか、自分の部署かもしれない。
保護者・子どもの変化を共有しあう。保育の困難さや保護者対応で途方にくれることは誰にも起きう
る。助けてくれるのは保育園の仲間。要はリーダー、事務所とのパイプ役として力を発揮しよう。
チーム員の不平・不満・批判を恐れず大事にし、建設的な考えの土台とすることが一歩前進に繋がる。
組織の一員として成長しよう(新任・中堅・チームリーダー研修への積極的参加)
- 質的に高まる⇒自分の考えに固執せず多面的に考えることができ、引き出しをたくさん持つこと。好
きな事を続けよう&仕事に関する勉強を継続する(研修など方法は自分らしさを大事にする) 親
や子どもの課題をみつけ、アドバイスをする力をつけよう。

現在、コロナウイルス感染予防対策に追われる日々ですが、三密を防ぐため、様々なことが中止・延
期となっています。また4月23日現在、6割の家庭は登園自粛をされています。その中で本当に親や子
どもに大事なものは何かなどを考えさせられました。子どもの成長にとって真に必要なものを見極めな
がら保育の質を落とさず、ウイルス感染を防ぎながら職員の知恵を結集して困難を乗り越えて行きまし
よう。

～基本方針～

(1) 園目標の実現に向けて

- ・健康なこども
- ・意欲的で心豊かなこども
- ・自分で考え行動するこども

* 養護と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成するには、保育者の倫理観、人間性、専門性、未来こどもランドの理念の理解が求められる。園内外の研修の他、日常の仕事を通し、保育士の資質向上をめざす。職務に必要な態度や価値観、知識、情報、技術を習得する。また、子どもが安全で情緒の安定した生活ができ、自己を十分に発揮できる環境の充実を図る。

(2) 保護者支援

* 保護者が安心して子どもを預け仕事に向かうことができるよう、そして子育てが楽しくなる支援を保育園の場を通して行っていく。

保護者会では、保護者同士や保育者と子どもについて話合えるよう、参加して良かったと思える内容にするために事前準備を十分におこなう。保育参加について、保育士体験型にし子育てに繋がる機会にしていく。

廊下に設置した保護者からの「ご意見ボックス」を活用し、保護者の意見、要望について把握し園運営に役立てるとともに、改善できる部分は行って行く。

行事では子どもの姿をみていただく中で成長を喜びあい、子どもの素晴らしさを実感してもらえるように、無理なく見通しをもちながら取り組んでいく。

地域交流事業について、参加者が少ないことから、お誘いの掲示や呼びかけをして、参加率をあげていく。

(3) 安全管理

避難訓練、不審者対応訓練等、日頃訓練を行う中で園児、保護者、職員の意識を高めると共に、園長不在時は副園長がリーダーとして役割を果たす。

日々、ヒヤリハットの段階で危険因子を検討し改善することで、事故がないようにしていく。

施設について、点検を定期的に行い安全管理に努める。改修について（園庭の危険箇所、各クラス室、プール、トイレ、バギー置場）その他、確認しながら区に要請していく。

(4) 職員がやりがいを持ち、働ける職場づくり

* クラスだけでなく横の連携を密にする。お互い声をかけあい話し合い、仕事ができる環境をつくる。職員とし、それぞれが役割をもち目標を立て達成感を持ち仕事ができる職場。休みがとれる職場にする。

	月の主題	保育のねらい	年間行事	食育	保健指導
4月	保育園大好き	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れる ・リズムある生活を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園、進級祝い会 ・子どもの日祝い会 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく食べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体計測 ・春の健康診断
5月	元気な子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動を楽しむ ・情緒が安定し、友達と遊ぶことを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 ・バス遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の大切さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫刺されの予防
6月	雨だって楽しい保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材や用具を使って自由に表現して遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開き 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生に気を付け梅雨時期を健康に過ごす・歯科健診 ・プール遊びの安全
7月	夏を元気に過ごす夏の遊び 水と泥んこ	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな夏の遊びを十分に経験する ・友達と一緒にプールで遊んだり水に親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕 ・七夕コンサート ・こども縁日 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の収穫 ・水分補給について ・暑さに負けない体力づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い指導 ・夏の健康指導
8月			<ul style="list-style-type: none"> ・スイカ割り ・プール閉まり 		<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の清潔 ・頭髮の清潔
9月	外遊び大好き	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な経験したことを、言葉や制作、体を使って表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母の会 ・お月見 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の野菜、魚を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の健康指導 (体力作り、薄着の習慣)
10月	体をたくさん動かそう	<ul style="list-style-type: none"> ・体を使って遊ぶ楽しさを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我の予防 ・秋の健康診断
11月	秋の自然はお友達	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れる ・いろいろな素材を使って遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出遠足 ・お弁当遠足 ・おやつ遠足 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理保育 ・ポップコーン、映画館ごっこ ・歯と食事 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診 ・手洗い、うがい指導
12月	楽しいこといっぱい	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことに興味、関心が広がり、友達と一緒に楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくお楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けない体力づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の健康指導 (風邪・インフルエンザ予防の衛生習慣) 空気乾燥への配慮
1月	伝承遊び 子どもは風の子	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくお楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬野菜を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムの見直し ・歯磨き指導
2月	友達大好き	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と共感する喜びを知り、友達関係が深まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・節分 ・大きくなったね会 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナー ・ひな祭り会食 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢について
3月	大きくなったね 成長の喜び、体を大切に	<ul style="list-style-type: none"> ・就学、進級に期待を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り ・保護者会 ・卒園式 ・内定児説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園児をお祝いする ・思い出完食 ・年長リクエスト給食 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児健康診断

家庭指導	<ul style="list-style-type: none"> ・日々連絡帳にて、家庭との連携を図る ・園だより、クラスだより、献立表、保健だより、栄養だよりを配布する。 ・運動会、大きくなったね会、就学祝い会への保護者参加 ・保護者会、保育参加、個人面談を行う中で信頼関係を深める。 	月例行事
		<ul style="list-style-type: none"> ・誕生児を祝う ・避難訓練、不審者訓練 ・身体計測

備考

※兄弟すずめの取り組み

幼児クラス縦割りの兄弟関係を作り関わりを深める

※保育園事業内容

- ・産休明け保育・障害児保育・育児相談
- ・地域交流・体験学習・地域交流
- ・ボランティアの受け入れ

不審者訓練（6. 8. 11. 1月）

令和2年6月	園長・副園長・職員 園児	光が丘警察署	警察署の方の話を聞く 「58番」（不審者発見のことば）で速やかに知らせ、園児の安全確保訓練、避難訓練、緊急連絡訓練を行う。
令和2年8月	園長・副園長・職員 園児		前回の訓練を参考に状況把握を行い、安全確保訓練を行う。
令和2年12月	園長・副園長・職員 園児		散歩先での不審者訓練 (各クラス毎行い、避難の仕方や園への連絡方法等を学ぶ)
令和3年1月	園長・副園長・職員 園児		6月の訓練を参考にし、不審者の発見場所や、不審者の内容を変えて訓練をする。

(2020年に向けて)

- ・保育環境について、全職員で学んできたことを活かし、保育士の保育力を高めるとともに各年齢の発達にあった環境づくりをしていく。
- ・人の話に耳を傾け聞くこと、自分の意見を持ち発言し、話し合うことの大切さを自覚して会議に参加できるようにしていく。
- ・保育の質を高めたい、自分自身の保育力を高めたいという意欲をもち、苦手意識の克服に繋がるように研修に参加し一人ひとりが保育園職員として成長できるようにしていく。
- ・昨年度、行事について全家庭に参加年齢についてのアンケートをとった。その結果、1歳児からの参加にしていこうことに決定する。

令和2年度

すまいる・ベリー保育園 事業計画書

- 1 利用定員 19名 (弾力により増員3名まで対応)
- 2 利用日・利用時間
月曜日～土曜日 7:30～18:30 (日曜祝日・12月29日～1月3日は除く)
- 3 職員定数 常勤9名 非常勤5名
- 4 事業開始年月日 平成27年4月1日
- 5 事業運営基本計画
※「保育所保育指針」と保育園の「全体的な計画」(下記、理念・方針・目標)をもとに各クラス保育計画を立案して保育を行っていく。

保育理念	子どもや保護者の心に寄り添い、人との関わりの中で生きる力を育む						
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・愛情豊かで丁寧な関わりの中で、人への信頼感、安心感をもち、子ども自身が大切にされていることを感じられるような保育をしていく。 ・一人ひとりの発達過程を踏まえ、子どもが主体的に活動できる環境づくりを心がけていく。 ・その子らしさを大事にしなが、豊かな心と健やかな体を育んでいく。 ・保護者と連携を取りながら、子どもの育ちを共に喜び合っていく。 						
保育目標	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1、健康な子ども</td> <td style="width: 50%;">・よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ</td> </tr> <tr> <td>2、意欲的で心豊かな子ども</td> <td>・人との関わりを大切にする</td> </tr> <tr> <td>3、自分で考え行動する子ども</td> <td>・感じたことを素直に表現する</td> </tr> </table>	1、健康な子ども	・よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ	2、意欲的で心豊かな子ども	・人との関わりを大切にする	3、自分で考え行動する子ども	・感じたことを素直に表現する
1、健康な子ども	・よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ						
2、意欲的で心豊かな子ども	・人との関わりを大切にする						
3、自分で考え行動する子ども	・感じたことを素直に表現する						

年齢	クラス目標
0歳児 定員5名	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの欲求を受け止める中で情緒の安定を図る。 ・離乳や歩行の完成に向けて保育を進め健やかな成長を促す。 ・個々の発達に留意しながら、全身を使った遊び楽しむ。
1歳児 定員8名	<ul style="list-style-type: none"> ・生理的要求や自我の芽生えを大切に、安心して自我の表出ができるよう温かく受け止めながら情緒の安定を図る。 ・安心できる保育者のもとで、食事・排泄・着脱など自分でしようとする。 ・一人遊びを十分楽しみながら、保育者や友だちにも関心をもち関わって遊ぶことを楽しむ。

年間行事	年間行事予定 （実施月は予定です。）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会（4月）・こどもの日祝い会（5月）・七夕会（7月） ・水あそび（7月～8月）・お月見の会（9月）・あそぼう会（9月） ・クッキー作り（11月）・年末お楽しみ会（12月） ・新年お楽しみ会（1月）・節分（2月）・ひな祭り会（3月） ・大きくなったね会（3月） ・お別れ会（3月） ・保護者会（5月）、個人面談（10月）
	毎月の予定
	避難訓練（地震・火災）身長、体重計測
	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会（一人ひとり）・野菜の収穫（2歳児のみ） ・不審者対応訓練（年3回）・水害避難訓練（年1回）
	健康診断
	定期健康診断（年2回）

6 保育の流れ

（1）1日の保育スケジュール（目安）

0歳児	時間帯	1～2歳児
順次登園	7:30～	順次登園
健康観察		健康観察
室内遊び		室内遊び
水分補給	9:00	水分補給
外遊び（外気浴・お散歩）	9:30	外遊び（お散歩）
授乳・離乳食・食事	10:00～	
睡眠	11:00～	食事
目覚め		睡眠
授乳・離乳食	14:00～	
おやつ	14:30	目覚め
室内遊び	15:00	おやつ
		散歩・室内遊び
水分補給	16:30～	水分補給
順次降園	17:00～	順次降園
	18:30	

※季節、子どもの発達段階などにより、生活時間が異なる。

- （2）散歩は、散歩先のコースを確認し、散歩届を記入してから出かける。
 保育園の周辺を散歩したり、近隣の公園へ出かけ、四季を感じながら

伸び伸びと体を動かして楽しむ。行先は子どもの発達や天候による。

7 給食等について

提供方針	* 季節の食材を取り入れ、安心して食べられ、丈夫なからだづくりを助ける給食の提供に努めていく。
提供方法	* 自園調理
昼食・おやつ	* 保護者には、前月末日までに翌月の献立表を配布する。 提供した給食を撮影し、デジタルフォトフレームで毎日ご覧いただけるようにする。
衛生管理等	* 給食の提供については「保育所における食事の提供ガイドライン（平成24年3月厚生労働省）」に基づき実施する。 * 健康増進法および食品製造業等取締条例に基づく給食開始届を、保健所に届出済み。 * 調理員および保育従事者は、毎月細菌検査（検便）を行っている。
アレルギー等への対応	* 食物アレルギー除去対応は可能な範囲で行う。医師から「食物アレルギー生活管理指導表」を記入してもらう。（食物除去は完全除去が基本） 保育園の「食物アレルギー対応マニュアル」を職員間で周知して対応する。

8 防災計画

事業所の防災計画を作成するとともに、避難訓練等を月に1回実施する。

施設長（兼 防火管理者・防災管理者）総指揮

9 保育所における子育て支援

- ・ 保護者支援に対しては、各家庭の実情を踏まえるとともに保護者の気持ちを受け止めて、相互理解と信頼関係を基本に、保護者が子どもの成長に気づき、子育ての喜びを感じられるよう努め、保護者の自己決定を尊重していく。
- ・ 地域支援に対しては、利用定員が埋まるまでの期間、練馬区からの一時預かりの依頼を受けるなど地域支援に努めていく。

10 職員の質向上

子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行なう為に、一人ひとりの職員の資質向上及び専門知識の向上を図れるよう、園内研修や外部研修（キャリアアップ研修など）の受講、または保育所保育指針で学びを深めるなど職員間で学び合いながら共通理解できる環境を確保していく。

11 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、職員は毎朝体温を測り、健康状態を一覧表に記入する。理事長にも報告する。
- ・保育者は、必ずマスクを着用して保育を行なう。
- ・手洗いを丁寧に行う。
- ・室内の玩具、床、棚などの消毒を徹底する。
- ・散歩先で人が多いと感じたら、別の場所に変更する。
- ・散歩先で手洗い場があれば手を洗って帰園する。
- ・送迎の際は、保護者にもマスクの着用をお願いする。

また、登園の際には保護者にお子様と手を洗ってもらうようお願いし、お迎え時の入室の際は、保護者に手指のアルコール消毒をお願いする。

→（5月の連休明けから変更予定）新型コロナウイルス感染が終息するまでは、保護者に保育室の入室を控えていただき、出入口でお子様を受け渡しするようお願いする。

- ・「緊急事態宣言」が発令されたことに伴い、練馬区からの登園自粛要請の手紙を保護者に配布し、登園自粛の協力をお願いする。（4月～5月連休明けまで）
- ・新型コロナウイルス感染の状況の変化に対応していく（練馬区の指示に従っていく）

放課後児童健全育成事業

R2年度 未来こどもランド学童保育 事業計画

○H31年度 定期利用児童 12名
一時預かり枠登録者
(定期スポット、単発スポットを含めて) 25名

対象児童 小学1年生～小学6年生

令和元年9月に大家さんとの5年契約を結ぶ。

その後は建物の老朽化や大家さんの代替わりの可能性などからその後の契約更新は思案中
ほぼ現状での契約はないとの事。

10月に保護者向けの説明会を開く。

- ・5年後は、学童は閉鎖となる。
- ・それまでの間は、縮小しながら現在の1年生が6年生になるまでは継続していく。
(ただし、在籍者がいなくなった段階で閉鎖する)
- ・新規の利用者は、職員体制に適した人数をだけを迎える。
*建物の老朽化などの理由であることや現在の利用者は守られていることから
異議申し立てはなかった。

R2年度

正規利用 7名
スポット利用 10名 でスタートしました。

職員体制

神田・田中(8時間非常勤)*どちらかが休みの時のヘルプ 福富
長期休み 調理→早川 早番→翁 ヘルプ→植木

今年度より

福富は、すまいる・ステップ&すまいる高野台(子育てのひろばの総括)

地域子育て支援拠点事業

R2年度 すまいる・石神井 事業計画

「すまいる・石神井」「すまいる・高野台」で年間を通じ季節行事などを行っていく。

- ・合同イベントの開催～運動会、クリスマス会などを行う。
- ・石神井公園の草地ひろばでの運動会開催
- ・公園での外遊び

職員→神田・田中・白尾

R2年度 すまいる・高野台 事業計画

「すまいる・石神井」「すまいる・高野台」で年間を通じ季節行事などを行っていく。

- ・合同イベントの開催～運動会、クリスマス会などを行う。
- ・石神井公園の草地ひろばでの運動会開催
- ・公園での外遊び

今年度から

☆毎日、開催する。(職員→福富・内海・船津)

☆すまいる・石神井で行っていたスマイルサポート(一時預かり)をすまいる高野台で行う。

指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

R2年度 すまいる相談支援室

利用契約者数 令和2年3月 現在 295名 モニタリング予定(新規時・更新時他)

職員人数 事務 1名 管理者・相談支援専門員 1名

活動内容

前年度に比べ契約者数が増えた。定期的に保護者の方と面接を行い利用者さんの情報をお聞きしながら、ご利用になりたいサービス内容を盛り込んだサービス計画案を作成する。また、同時に他のサービスが必要な場合には情報提供を行う。

福祉サービスを継続する方には、適切なサービスが提供されているか、新たなニーズが無いかを確認しながらサービス計画を作成する。

半年に1回のモニタリングでは、サービス計画が各事業所において的確に遂行されているか確認をしながら、新たなニーズが無いか等聞き取りモニタリング報告書を作成する。

障害児通所事業

令和2年度 放課後等デイサービス すまいる・ステップ事業計画

令和元年度に関して

- ・小学生のみの在籍に完全移行しました。24名在籍。
- ・1年生が増えた為、4時間以上の長時間保育が増えました。
- ・令和2年3月9日より東京都の要請を請けて、午前中からの6時間保育を行いました。
- ・学校のお迎え時間が早まったため、非常勤職員の出勤時間を15分早めました。
- ・活動内容や療育内容の日々のプログラムの工夫を行いました。
- ・買物練習では、不二家に加えてミスタードーナツへ行きました。事前に日時と買物人数をお伝えして、お店の方々にもご協力頂きました。

年間計画

- ・年間行事計画に基づいて保育を行います。
- ・夏休みの1日保育は、一人2回参加できるように計画。
戸外：光が丘の「われもこう」で昼食、板橋教育科学館で科学体験。
室内：お弁当作り。
- ・ツリーでの合同イベントの実施。
- ・保護者会を年1回実施します。
- ・保護者面談を年2回実施します。

今後の課題

- ・新しく保護者に記入して頂いた『利用者基礎情報表(2)感覚チェック表』を基に、お子様の困り感を知り配慮しながら支援ができるように専門性を高めていきます。
- ・OTからの支援アドバイスを更に保育に活かしていけるようにしていきます。
- ・職員の役割分担の見直しと共に新人職員の育成を図ることで、より一層チームワークよく保育、療育に反映出来るようにしていきます。

令和2年度 放課後等デイサービス すまいる・ツリー事業計画

年間計画

- ・曜日固定、グループ固定にすることで保育の充実より個別に支援が出来るように小グループで継続支援を実施する。
 - また職員も固定する事によって、日々の変化を敏感に捉えられるようにする
 - ・年間行事計画を出来るだけ詳細に立てることで保護者に協力を求める。
- 見通しを持って通う事で、楽しく通ってもらう
- 買い物では近くのコンビニと連携して自分の好きなおやつを購入したり、自販機で好きな飲み物を購入する
- お金の使い方、お金の概念も学んでいる。また、交通ルールや公共のマナーが学べるようにしている。
- 音楽では拍打ちしたり、歌やダンスや楽器を演奏したりして思い思いに楽しむ
- おやつ作りは季節の食材を使い、簡単に出来るものをつくる。
- 運動では、体操やサーキット、ゲームで楽しみながら体を動かしていく
- 工作では季節の行事にふれながら、手の巧緻性が高められるように課題を設定している。
- 避難訓練は年に4回実施し、緊急の事態でも対応できるように練習をする。
- ・長期休みの時の長時間保育の取り組み
- 夏休み期間中の長時間お預かり回数を増やしている。昼食作り2回、コンビニへ昼食を買いに行く、遠足
- 帰りの送迎時間は保護者の負担にならないように、繰り上げはしていない。
- ・すまいる・ステップとの交流
- 年に2回実施し、異年齢との交流を図る
- いつもと違う場所での楽しさや、体育館での遊びが楽しめるように設定する。

今後の課題

- ・利用者の登録人数を削減して、利用日数を増やしていく。その為に計画課題内容の精査が必要となる。

在籍人数

27名 (一日利用平均 12から15名)

令和2年度 児童発達支援事業 すまいる・キッズ事業計画書

ねらい

【午前グループ（2歳児対象）】

- ・（保護者以外の）大人への安心感を持つ。
- ・少し先の見通しが持てる。
- ・生活面や清潔面で、自分でできることが増える。
- ・友だちと過ごす楽しさを感じる。

【さくらんぼグループ（就園児小集団）】

- ・小集団の強みを生かし、社会性に重点をおく。
- ・お互いの違いを認め合い、友だちといふことも嫌でない居場所になる。
- ・社会生活に必要な技量や体づくりにつながる、粗大・微細運動の取り組みを提案する。

年間計画

【季節の制作・活動】こどもの日、七夕、お月見、クリスマス、節分、ひなまつりの製作を通して、伝承行事に親しみを持ったり、様々な素材や道具に触れる経験を持つ。

【避難訓練】毎月、地震または火災を想定した、集合訓練や建物内避難訓練を実施する。
さくらんぼグループ（就園児主体の小集団）は防災頭巾をかぶる経験もしていく。

【保護者会】午前グループ（2歳児対象）保護者 6、9、2月実施予定

さくらんぼグループ（就園児の小集団）保護者 4、2月に実施予定

【保育参観】さくらんぼグループ（就園児の小集団）保護者 8、1（～2）月に実施予定

【保護者交流会】就園児保護者対象 5、6月にすまいる・ヴィヴィファイにて実施予定
保護者同士の親睦と就学に向けての情報提供を行う。

【個別支援計画 面談】6ヵ月毎に1回以上実施

活動内容

令和1年度の新しい試みとして、午前グループの保護者に石神井町つつじ保育園で実施している『つつじっこくらぶ』への参加を募り職員も同行してきた。親子のみでの参加までは繋げることができなかった為、令和2年度は、『つつじっこクラブ』以外の地域交流事業の情報提供も積極的に行っていきたい。

課題：利用者数

例年4、5月は午前2グループ（2歳児対象）が新入児に入れ替わることで実績数が減少する。特に令和1年度末は新型コロナウイルスの流行により、保健相談所の健診や面談が休止し、問い合わせ及び見学希望者が大幅に減少した。今後の情勢を見つつ、保健相談所の健診、面談が再開した際には、積極的に近隣の保健相談所を中心にパンフレットを配布することと合わせ、MKLのHPも活用し利用者確保に繋げたい。

令和2年度は、さくらんぼグループ（就園児の小集団）の定員を2名増やし9名にする。午前2グループと個別療育の振替日（枠）は令和1年度同様に設け、積極的な活用を呼び掛け、実績数増加に向けての努力を継続していきたい。

2020年度 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト事業計画書

事業目的

利用者が日々笑顔で毎日を過ごせるように、働く生活を通じて、自立に必要な「生活力・仕事力・余暇力」の知識や技術を育成し、「社会力」を身に付ける事で「人間力」の向上を計り、「自己実現」を目指す。また、集団生活を通じてコミュニケーション能力の向上を図ると共にルールやマナーを身に着ける事で「協調性」を養っていく。

利用定員

1日20名（在籍数23名程度）

利用契約者数

19名（2020年4月現在）

利用契約目標表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現在	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名	19名
目標	19名	20名	21名	22名	22名	22名	22名	22名	22名	22名	23名	23名

職員人数

7名

- ・管理者（施設長・社会福祉士）1名 ・サービス管理責任者（保育士）1名
- ・目標工賃達成指導員 1名 ・職業指導員（介護福祉士）1名
- ・支援員（非常勤職員）3名

作業・活動計画

*週間での取り組み

- ・受注作業（クロネコDM便・石神井図書館外周清掃・S字フック作業・チップ作業・電気部品作業・各種グローブ作業・各種封入作業・パルプ作業・フラワーベース制作・等）
- ・生産作業（絞り染エコバック、Tシャツ、ストール・ノート、手帳各種・くるみボタン製品・刺繍製品・季節、イベント製品等） *クルミルショップからの発注・納品
- ・外部就労（カフェ業務等）

*月間の取り組み

- ・販売会出店（ハッピースマイルフェスタ年7回・月～金5日）
- ・ねりいち（月2～3回）
- ・余暇活動 毎月最終金曜日（4月・8月は行わない）
- ・身体測定 毎月第3金曜日（体重、血圧）
- ・避難訓練（不定期、無連絡にて実施）
- ・職員面談（毎月最終週に1名15分程度）

*3 カ月毎の取り組み

- ・ケース検討会 第1木曜日 PM13:00~18:00 (6月・9月・12月・3月・ケース検討会)
- ・作業評価表の作成、利用者面談、等実施
- ・社会人マナー (各利用者に必要だと思われる内容をグループ編成して1時間程度行う)

*6 カ月毎の取り組み

- ・個別支援計画書作成
- ・工賃検討会議
- ・家族会 (9月、2月、第2土曜日 10:00~12:00 実施) 等
- ・委託展示販売 (がむしゃら) …年間1カ月間
- ・販売会 (Tジョイ販売会) …年2回

*法人連携の取り組み (法人連携)

- ・法人内保育園の入園児用バック・卒園児用コサージュ等の制作販売
- ・法人内保育園タオル、ポロシャツ等の刺繍・各種イベント缶バッジ制作等
- ・各事業所の保護者会等で生製品の販売が出来ないか?相談、検討していきたい
- ・法人内カフェでの生製品の販売

今年度の実施計画

- *利用者確保… 地域貢献も含めて、今後も見学・実習等は継続して受けて行くが、利用者の曜日別利用実績をベースにトータルバランスで利用契約を進めていく。必要に応じては23~25名程度までを定員として日々の利用者人数を18~20名にしていく。また、日々の支援を進めながら精神系の方の利用曜日を増やしていく。
- *受注作業… レインボーワークからの新たな作業の紹介をベースに高収入の作業への移行を目指す。現在の取引企業と信頼関係をベースに新たな作業のお願いや賃金交渉、単独営業としては、良好企業から新たな関係企業の紹介等のお願いをしていく。
- *生産作業… 昨年度のネームバリューアップとなったフォルクスワーゲン社との取引や三井系ホテルの受注継続や関係ホテルの紹介等を行っていく。現状のハッピースマイルフェスタ、ねりいちの販売会を主にTジョイ販売会のような参加可能な販売会を模索しながら法人内の協力等にも引き続き力を入れる。商品開発も主力の3部門だけでなく、食料品や年間でのイベント商品を企画・試作等を行っていく。またその中で、在庫管理の徹底や部材コスト、購入等も意識して収支に見合う商品開発や商品数を意識して行く。
- *余暇活動… 今年度は、4月8月を除く最終金曜日に実施していく。「午後だけの余暇」「イベント余暇」「フリー行動余暇」と目的を分けて、より利用者の自主的行動に繋がる内容と作業を含めた楽しみの体験の時間としていく。また、年に1回のバスツアーや利用者アンケートは引き続き行う。

*一般就労体験… 対象利用者さんには、定期的に法人内カフェの店員体験を毎週月曜日～木曜日の4日間行っていく。また、法人内保育所の用務補助・保育補助等の見学、実習等も検討。レインボーワーク主催の障害者企業見学会等にも参加していく。また、必要に応じて東京都障害者職業センターでの実習等への参加もしていく。

*利用者工賃… 前年度利用者平均工賃実績は、¥13831 だった。利用者が増えているので受注、生産作業共底上げを必要とするが月額の入収入目標を¥250,000 にする事で、今年度の利用者平均工賃の目標を¥14,000 としたい。

関係機関等

*見学・実習等 (レインボーワーク・練馬区保健相談所・練馬区福祉事務所・練馬区内特別支援学校・近隣保健相談所・近隣福祉事務所・近隣特別支援学校・区内精神科病院 (デイケア等)・就労移行事業所・就労継続支援 B 型・グループ・ホーム等

*一般就労等 (レインボーワーク・池袋ハローワーク・東京都職業センター・東京ビジネスサービス株式会社・各種見学企業等)

公益事業

地域交流拠点事業

令和2年度 みんなのカフェ すまいる・VIVIFY 事業計画

事業目的

VIVIFY の意味合い「人を生き生きさせる」「輝かせる」「生気を与える」というように地域のみんが生き生きと笑顔で暮らせることを願い、カフェを通じて地域住民同士の触れ合いの場、一人一人が自分の時間としてゆったり過ごせる場所であり、公益事業として申請をしたことにより、地域住民に対する貢献的な働きを求められている。

地域の方が参加して一緒に企画をしていくことや、将来的には地域のハブ機能になっていくことを目指す。また、障害者施設の利用者が店員として外部就労することによる障害者支援の場の提供をし、地域住民との交流につなげる。＝共生社会につなげていく。

営業日 年中無休 (月～金は 11 時～16 時半ラストオーダー17 時閉店)
(土日祝は 12 時～17 時ラストオーダー17 時半閉店)

実施内容

ドリンクと食事の提供

ドリンク (ホット) メニュー 7 種 ドリンク (アイス) メニュー 5 種 アルコール コロナビール
食事メニュー フランクフルト、ワッフル、トルティーヤチップス

隣のピーターパン (パン屋) とカシュカシュ (ケーキ屋) の商品 (飲み物以外) の持ち込みを可とする。
パンは温めサービスを実施、ケーキもお皿とフォークを提供する。

セットをやめて、フードをすべて単品にすることによって、注文が増えた。テイクアウトも良好。

今年度の取組としては、

- *すまいる・サンドを復活させ、フードを少し充実させる。
- *昨年イベントの際に作ったババロアも試験的に実施していく。
- *冬場のドリンクとしてホットチョコレートやホットココアも検討していく。

昨年同様、石神井商店街のイベントに参加 (カレー週間・猫フェス週間)

- *カレー週間のカレーセットも継続する。

社会貢献・地域連携として

土日祝はボランティア演奏者を募り、チェロ、ハーモニカ、オカリナ、ボサノババンドや昭和歌謡バンドなどのミニ演奏を実施。イベント情報を掲示しておくことで周知されやすいので実施していく。

就労支援施設の利用者のカフェ店員体験から外部就労として2年目になる。利用者への指導も含めて、一般就労につなげる工夫をする。(すまいる・フォレストと連携)

地域住民のニーズに応えるような講座やワークショップも考えていきたい。(年3回程度)

イベントの実施

レンタルボックスの参加者と一緒に企画運営をする機会を年に2~3回設定したい。

レンタルボックスへの参加の作家同士の交流が生まれ、カフェではない場所でもワークショップなどが行われているように、カフェを拠点に様々な方がつながり、新たな場所へ発信していく機能を持たせていく。

レンタルスペース

平日は1時間 1000円 3時間まで 土日祝は1時間 2000円 2時間まで 1時間延長は3000円

*法人内のリーダー会の会議の場ともなり、各施設の職員にも知ってもらい、保護者会などでの利用にもつながっているため、継続して法人内での活用も視野に入れていく。

・レンタルボックス 10ボックス 管理料 500円/月

現在は3か月間を基本に待機予約をしてもらっている。順番で一度離れても再度待機をしてくれる方が多い。 *より多くの作家さんに活用してもらえるようにする。

・ブース席 (予約制で無料)

*予約をすれば利用できるが長時間利用の場合にはメニューを持っていき、「いかがですか？」とお勧めすることにする。

すまいる・フォレストとの連携

今年度より、フォレストの職員が店員として入ることによって利用者支援をしやすい環境となる。(週1回)法人内の職員でカフェの店員ができる人が増えることで、急な店員のお休みなどにも対応できるメリットがある。利用者が制作した商品を販売しているため、利用者自身が作ったものをお客様に直接販売できる貴重な機会となる。フォレストの商品を宣伝してもらおう。

利用者にも店員作業を少しづつできることを増やしつつ、利用者が自信をもって楽しくカフェの手伝いができることを期待する。常連客には顔なじみになって人気者にもなっている例があるので、より多くの地域住民に知っていただき、応援してもらいたい。

また、利用者の中でカフェへの外部就労できる利用者を増やしていけるようにしてもらいながら、カフェでは、様々な仕事を丁寧に教えていく。

売上を上げるための努力

日々の売上が少しでも上がるように「あいさつ」「サービス」を意識しつつ、法人職員での地域向けの無料相談やワークショップを考えていきたい。まだ、時期は未定ではあるが、バックヤードを整理して、製造業許可をもらえると、フォレストで二次加工したものを販売する。カフェでフードにつけて試食してもらおう。現在、はちみつとナッツ はちみつとシナモン オリーブオイルとハーブの3種類を思案中。はちみつはフードのワッフルで試すことができる。また、ミルクティーに入れることでチャイ風に。すまいるサンドのパンに付けるオリーブオイルとして活用できる。お客様に味わってもらって、お土産に購入してもらったりできると良い。贈答品になるような形にする。練馬区のねりコレに入れてもらえるような商品としたい。